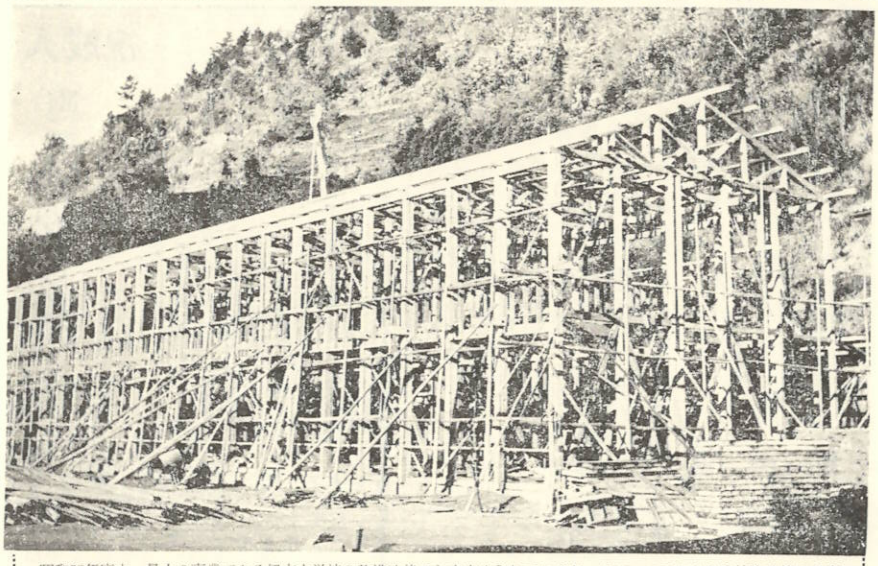
広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話91番



昭和35年度中、最大の事業である伊方中学校の整備は着々とすすめられているが、その一つである危険校舎改築8教室延 237坪は、暮も迫った12月20日上棟し新春の陽光を浴びながら、つち音も高らかに、今着々と完成が急がれている。

正賀

皆さんあけましておめでとうございます。年頭にあたりまして皆さまのご健康と御多幸を心からお祈り申しあげます。

昭和三十年三月、伊方、町見の両村が合併してから六回目、私どもが町政運営の重責をになうことになりましてから二回目の新春を迎えるわけでございます。

今後共よろしくお願い申しあげます。

町長 川口寛之
助役 高月歌芳
収入役 大林雅男

1月の税金

町民税
保険税
納税は
1月末日までに

一月は……

明るい家庭をつくる月

健やかな青少年を育てるために、いつも笑顔で話しあえる家庭をつくろう――と県青少年問題協議会が主唱になって明るい家庭をつくる運動が、一月いっぱいくりひろげられる。

この運動は、家庭の日常生活のなかにそのための不断の努力を持ちこみ、真に明るく民主的な生活態度をもった、たくましい青少年を育てよう、とするものであります。

◇目　標

1、正月を家庭中心に過ごし、青少年に希望を与えよう。
2、いつも笑顔で話しあえる家庭をつくろう。
3、青少年にはじない生活をし、ともにはげましあおう。

愛媛県青少年問題協議会が主唱し一月一日から三十一日までの一カ月間、明るい家庭をつくる運動をくりひろげることになった。そこでこの運動は、どんな運動なのか、そのあらましを知るために実施要綱を開いてみた。

◇趣　旨

青少年を健やかに育てることは常に人類最高の願いであり最大のつとめであります。現在社会の注目をあつめている青少年問題の根源は、家庭生活の不安定性にあるといっても過言ではありません。すべての家庭が青少年に正しい理解と愛情を持ち、明るい家庭の人間関係を保つよう努めることがあらゆる青少年対策の基礎として望まれるところであります。

＝刃物追放も継続＝

この趣旨のもとに、その目標を実現するために、この運動は、どんなことをするのか、実施事項を見てみましょう。

青少年問題協議会では、まず「家庭のあり方五カ条」を作りました。その全文を左に掲げていますのでぜひみなさんもよく読んで自分の家庭がそうなっているか思いおこし、なっていなければ、家族のみんなが力を合わせ実現するようにしたいものです。

この他明るい家庭を作るための運動として

◇「おはよう、今日は」運動すなわち、おとなもこどもも、もっとあいさつをしようという呼びかけ
◇刃物を持たない持たせない運動の推進、これは十二月を運動期間としていましたが、引き続き続けようとするもの。
◇不良図書追放運動の実施。
◇よい映画をみる運動の実施。
◇夜遊びを防ぐための愛の鐘設置運動の推進。
◇家族みんなが手伝う家庭清掃日の設定。

などが計画されています。

家庭のあり方5カ条

第一　家庭は、休息をあたえられるところでなければなりません。

第二　家庭は、愛情に満ち明朗な楽しいところでなければなりません。

第三　家庭は、たがいにその立場を尊重し、たすけあうところでなければなりません。

第四　家庭は、こどもが自主独立の生活に育っていくための訓練と教育の場でなければなりません。

第五　家庭には、心身の健康を保つ生活の規律がなければなりません。

自転車の防犯登録制実施！

自転車を盗難から守るために
あなたの自転車をぜひ登録しましょう

質屋、古物商、運送業者の方は、登録した自転車でないと原則として取り扱わないことになっていますので、自転車を盗んでも登録証と登録票がないと質に入れたり売ったりまた運送をたのむことができないことになります。

防犯対策協議会
伊方町見警察官駐在所

納税と人生

税務課長
武田庄松

あけましておめでとうございます。新年早々税金の話しなどまことに恐縮です。ことしどそみなさんの協力を得て、良好な納税成績を納めようとの意気ごみからなのですからお許しのほど……。

税務行政というのは難しいもので、あまり徴税的感覚に走り過ぎてもいけないし、逆に一般良識に頼りすぎてもまずい、処でいったん税務関係の仕事の中に入ってしまうとかえってこの常識的感覚というものを失い勝ちになる。そのため納税者からみると全く常識はずれの妙なことがあたりまえのことになる。反対に納税者があたりまえのように思っていても徴税側の方からみると大いに間違っていて、このため往々にして我がことでもないのに他人のことまで例に取ってとやかく吹聴している者がある。税金の滞納に例を取ってみると斯様なことが多くある。国民健康保険税の課税額についてであるが甲とこの生活程度は同じであるように見えるが課税方式による内容でこれを計算すると結果は大きく差が出来る、納税者側からみると疑問に思われることであろう。これは世帯単位と人員については問題はないが、資産と、収入の面で差額がついてくるのであってこの点は如何に近隣であり兄弟であって朝に夕に顔があっており全てについて判っているようであっても、この分だけは専門である徴税側だけが知っている事柄が多い。耕作反別の場合は甲乙同じ三反歩づつでも地価即ち固定資産税の評価額に差があり、これに伴う資産割に差がつくことがあった。義務を怠って税金を滞納している者に対して、税務課は、毎年のように戸籍の抄本と納税の証明書が雇い主や、学校側より請求があったり、照会してくることがある、これは戸籍抄本は日本人ありの父何某、母何某の子で何時何処で生れたことが認証されるが、納税証明はその税額を見れば当事者の家庭の経済状態がどの程度であるかが判ってくる。しかしこの税金が完納されているか滞納になっているかで就職の場合にも進学の場合にも当事者に大きな禍いをもたらしていることが多い。進学も就職もいかに成績よく試験は合格していても予定人員以上の合格者があるときなどあらゆる選択方法が採られている様であり、採用通知が来なかったり入学通知が来ないことがあった。義務を怠って税金を滞納していたばかりに優秀な子弟の就職や、進学が阻まれては夢も希望も失う、当事者はあまりにも惨である。罪のない子弟の希望を挫き、夢を破ってもまだ反省しないと言うことは憎むより哀れな存在である。

子弟の進学や、就職のみによらず昨今あらゆる方面に納税証明が資料になっていることが多いので唯漫然と滞納していたばかりに自己の生活上取返しのつかない事が発生している者もある。子弟の夢を満し、希望も叶えかつまた自己の生活にも明るみを持って意義ある人生を楽しむことに努めたいものです。日頃の注意から心掛を新にされて納税に協力されんことをお願い申上げる次第です。

であるが、やがて子弟が蛍雪の業なりて学校を卒業する時期がまっては実収はあっても課税資料に計算する場合の収入額は税法に示されている計算方法によって決定されるのであるから素人考えの額とは違った額になっている。又一家の中でもその家の主人だけが知っていて他の家族は知らないし、いかに近隣でも兄弟でも、妻でも知らないで生れたことが認証されるが、また収入のあることなどは現在の社会では通例と言ってよい程あるようでないものがカネであり、ないようであるものもカネであるとの結果になる。又収入状態などに至っては実収はあっても課税資料に計算する場合の収入額は税法に示されている計算方法によって決定されるのであるから素人考えの額とは違った額になっている。又一家の中でもその家の主人だけが知っていて他の家族は知らないし、いかに近隣でも兄弟でも、妻でも知らないで生れたことが認証されるが、納税証明はその税額を見れば当事者の家庭の経済状態がどの程度であるかが判ってくる。しかしこの税金が完納されているか滞納になっているかで就職の場合にも進学の場合にも当事者に大きな禍いをもたらしていることが多い。進学も就職もいかに成績よく試験は合格していても予定人員以上の合格者があるときなどあらゆる選択方法が採られている様であり、採用通知が来なかったり入学通知が来ないことがあった。義務を怠って税金を滞納していたばかりに優秀な子弟の就職や、進学が阻まれては夢も希望も失う、当事者はあまりにも惨である。罪のない子弟の希望を挫き、夢を破ってもまだ反省しないと言うことは憎むより哀れな存在である。

納税者と徴税側だけで解り合っていることを第三者がとやかく言うのも古今東西人間社会では生きる上には一種の病気のようなものであろう。とかく近頃は義務と権利をはき違えて権利ばかり主張して義務を怠っている人の多い世の中であるが、他の事については知らず、これ税金に至ってはこれをはき違えているとやがてこれが自分に報復されることがあるので世ひ知っていて貰いたい。最近の例

祝成人

町内の成人者

みんなで一四六名

一月十五日は、成人の日です。

「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」日ということになっています。

町教育委員会の調べによると、ことし中に満二〇歳になる人が、伊方町内には、男七二名、女七四名、計一四六名いるそうで、この人たちの成人をお祝いするために一月十五日に、役場の二階で成人式が開かれます。

町教委で調べた成人者は、次のとおりですが、これは、去年の十二月二十日現在で、住民登録によって調べたものですから、その後の転入者や調べ漏りがあるかも知れません。そこで町内に住所があり、昭和十六年に生まれた人は次の名簿にのっていなくても、ぜひ成人式に出席されるよう教育委員会では希望しています。

式が開かれます。

大浜（男五名、女九名、計十四名）
渡辺高美子、橋野　光明、原上ビヨ子、谷藤　知子、
中川　睦子、中川　明、中藤　博之、黒田　文秀、黒田　文子、
笠野　仁一、河野　綾子、宮崎　君子、門口　清昌。

中之浜（男三名、女三名、計六名）
藤畳　千春、藤野　英一、三浦　守、門川国雄美。

仁田之浜（男二名、女三名、計五名）
渡辺　宮子、鳥井　好弘、向上　守、菊池ツジ子、瀬上　智子。

河内（男五名、女三名、計八名）
藤畳　照夫、黒田　春一、大森　次郎、宮部　亀一、菊池　稔、
木戸　美代、菊池美代子、東川モモ子。

湊浦（男六名、女十四名、計二十名）
二宮ミヤ子、綾谷　紀、大浜　智子、柔田　広子、武田　隆子、
永野　良樹、上田　義夫、山本　幸子、山下紀久雄、山口　幸子、
山口ミヨ子、松本ミサ子、佐竹　仁美、木戸　文明、二好　摩子、
三好マリ子、明神　晴、福下富士子、宮田　真治、鶴原　正二。

小中浦（男〇名、女四名、計四名）
潮江　宗子、大森　広子、大森　修子、坂本　静子。

中浦（男四名、女一名、計五名）
西川　純一、小笠原俊昭、竹内清一郎、笠野　智、吉川　春子。

伊方越（男三名、女一名、計四名）
辻　英典、坂田　公二、酒井　忠志、菊池　光子。

亀浦（男一名、女三名、計三名）
中田　芳子、本下　喜久、清家美恵子。

川永田（男三名、女十名、計十三名）
金谷　春子、辻　喜久雄、松田　弘美、阿部　静子、桜谷　節子、
菊池　千之、藤川　紀子、清水　正之、橋本　青枝、玉岡ヨシ子、
松下マキ子、松下マリ子、松下チエ子。

豊之浦（男二名、女二名、計四名）
稲田　雅男、稲田　茂、井上信平雄、井上　卓也、井上ヒエコ、
林　日出士、岡崎　朝士、渡辺　時秀、竹内　啓三、中田ヨシヤ、
上田美恵士、渡辺雅一郎、福島　清文、河野　明志。

奥（男六名、女三名、計九名）
田丸　六夫、渡辺　春比、高橋　正明、中村　行雄、渡辺　久子、
大沢　月美、川崎　修、三根生武春、渡辺　勝子。

向（男二名、女三名、計五名）
馬本　栄、梅内　政和、川四千代美、下向　時男、黒内　順子。

畑（男三名、女五名、計八名）
得能　繁美、井上　明、古岡　浩子、広野　勲子、広野　亀子、
畑山　建明、谷村　泰孝、得能　作蔵。

須賀（男三名、女二名、計五名）
加藤　和義、大本　二郎、山崎　春男、松下マサミ、池田　文雄。
久保（男一名、女二名、計三名）
渡辺八郎子、松田　徳、松田健治郎。

西（男三名、女一名、計四名）
高田　寛、樋渡　勝博、二宮　利峡、阪口田鶴子。
二見本浦（男一名、女三名、計四名）
山田ザツ子、大西五十鈴、岩井　澄子、古田　晴三。
加用（男一名、女〇名、計一名）
笹田　長司。

田之浦（男三名、女一名、計三名）
神山　勝男、表賀　弘子、上田　靖誠。
古屋敷（男一名、女二名、計三名）
細川　節子、西村　栄子、坪本　栄作。

鳥津（男二名、女〇名、計二名）
竹上　時雄、鳥津　豊誠。

大成（男四名、女二名、計五名）
本村　光輝、吉田　武敏、高岡　勲子、西野　光男、藤岡　政利。

町の日誌

11月20日　衆議院議員総選挙　町内10カ所の投票所で、衆議院議員総選挙および最高裁裁判官国民審査の投票が行なわれ、衆議院80%83、国民審査75%81という投票率でいずれも前回より下回った。衆院選挙の投票区別の投票率は次のとおりである。

投票区	有権者	投票者	投票率
1	1,629	1,306	80%17
2	739	637	86．20
3	326	278	85．28
4	1,061	899	84．73
5	658	474	72．04
6	1,397	1,106	79．17
7	163	138	84．66
8	624	511	81．89
9	192	139	72．40
10	169	136	80．47
計	6,958	5,624	80%83

即日開票の結果、伊方町開票区における候補者別得票数は次のとおりである。（立候補届出順）

毛利	松平	1,525
阿部	寛元	2,086
高橋	英吉	1,546
島田	学	15
今松	治郎	115
井谷	正吉	291

12月3～4日　町農業祭開く　恒例の町農業祭は、伊方・町見両農協を母体として、ことしも盛大に開かれたが両地区共農産物品評会の出品点数は例年より少なかった。

農産物品評会の1等入賞者は次のとおりである。

―伊方―
果樹―矢野シズ男、奥田泰三
穀類―藤上松美、中元若松、高月久雄、宮本辰隆
野菜―藤堂若太郎（2点）中田常市
菊池初子、山口行高、木戸藤太郎
漬物―渡辺文江
―町見―
果樹―川口寅吉、井上久志
穀類―堀江かよ子、川口タネ
野菜―森元寅吉、渡辺公住、上田磯
なお伊方農協は産業功労者表彰をも行ない次の3氏が受賞した。
果樹　大浜　山口　要
養蚕　仁田之浜　中元　若松
一般作　河内　渡辺栄治郎

町見では、畜牛品評会をも開き、次の2氏の飼育牛が1等に入賞した。
西　坂戸照繁　畑　畑木近作

12月9～10日　決算審査　昭和34年度決算の適否を確認するための決算審査が、上田、宇都宮両監査委員の手でおこなわれた。

12月21日　12月定例議会　会期1日間で昭和34年度一般会計、国保会計、水道会計等の決算認定を審議、いずれも原案どおり可決した。

なおこの日の議員協議会で議会事務局の設置について、話しあいがもたれ、今後さらに具体的な研究をすすめできるだけ早い時期に設置することにきめた。

（注）現在は、総務課庶務係が議会書記を兼務しており、これでは、平素の調査活動が充分に行なわれず、議会の機能が充分に発揮できないというもので、郡内では、三瓶町および三崎町が既に設置している。

明るい一家

火事お見舞のお礼

過日の出火に際しましては、消防団の方々をはじめ、みなさま方には、早速お駆けつけ消火に尽力下さりかつまた多くの方々から、温情こもる御見舞の数々をいただき御礼の申しあげようもございません。早速律儀の上お礼申し述べるべき筈のところ、取り敢ず紙上をもってお礼かたがたごあいさつ申しあげます。

伊方町河内
松田類治

人

昭和35年12月1日現在
世帯数　2,589

人口　12,446（男6,106　女6,340）

婚姻（十月届分）

（十一月届分）

出生（十月届分）

死亡（十月届分）

（十一月届分）